個別施策Ⅱ－（２）

安心して子育てができる環境をつくる

重要業績評価指標（KPI）

指標名	単位	実績値					目標値
		計画策定時	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
保育園等の待機児童数	人	0	0	32			0
放課後児童クラブの受入可能児童数	人	1,127	1,129	1,098			1,466

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

●地域の人たちの助け合いによる「ファミリーサポート事業」に取り組み、仕事と育児の両立等子育てがしやすい環境づくりを推進しました。

【会員数：依頼会員 1,195 人、支援会員 275 人、両方会員 45 人 活動件数：2,478 件】

●社会福祉法人等が運営する保育所や認定こども園に対し、自主的で柔軟な施設経営に関する費用の一部を助成し、入所児童の処遇向上と地域間の均衡の確保を図りました。

●民間保育所に対する小規模修繕等施設整備や施設整備費の一部助成をすることで、入所児童の処遇向上を図りました。

【サンキッズ金田ほいくえん（定員 20 人増）、いずみ保育園（定員 20 人増）】

●認定こども園のモデル施設としての港こども園整備が完了しました。

●現吉沢公民館敷地内に公民館、認定こども園の整備に向けた準備を進めました。

●学童クラブの小学校余裕教室への 2 クラブの移設と既存 2 クラブの分割に向けた調整を行いました。

●通院の助成対象を小学 6 年生までから中学 3 年生までに拡大し、中学卒業までの入院及び通院の医療費助成を行うことで、子どもの健全な育成と健康の増進を図りました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<ul style="list-style-type: none"> ●ファミリーサポート事業において、支援会員数を増やすことが課題です。 ●施設運営費等の助成について、教育や保育の質の向上による児童の処遇改善、保育士確保や保育士の就労環境の向上、更には、高まる保育需要に対応できるよう、随時、補助等の内容を見直していく必要があります。 ●保育所施設の老朽化や待機児童解消のため、状況に応じた的確な対応が必要です。 ●吉沢地区における公民館、認定こども園の整備に当たり、早期建設及び経費削減が可能な手法を検討していく必要があります。 ●学童保育について、各地区の状況を細かく把握した上で整備することが必要です。また、老朽化、狭あい化が進んでいる施設において、利用児童の安心・安全を確保する必要があります。 ●国の医療制度や県の補助金制度の見直し状況、本市の財政状況等を総合的に踏まえ、制度改正について、検証する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●支援会員の研修等の充実とともに積極的なPR活動を行うことにより、支援会員数を増やします。 ●保育所の自主的で柔軟な施設経営を促進し、入所児童の処遇向上と地域間の均衡の保持を図るために、民間保育所に運営費を助成します。また、届出保育施設に対し児童健康診断受診料等を助成します。 ●入所児童の安全、衛生面等の生活環境の改善のため、小規模修繕等を実施します。 ●建設に向けて、工事所管課とともに工事に係る事務手続きを進めていきます。 ●利用児童数の増加等の動向を注視し、既存の放課後児童クラブの分割や新規委託等を検討していきます。また、必要に応じて、公的施設への移転を進めます。 ●医療費の増加抑制のための啓発を行うとともに、近隣市町村の状況を研究しながら、効率的かつ安定的な事業運営を図ります。
関連する【取組】と（事業）	
<ul style="list-style-type: none"> 【一時的・臨時的な育児支援活動を行うファミリーサポートセンターの運営】（ファミリーサポート事業） 【民間保育所等に運営費等の一部を助成や入所児童の処遇向上】（民間保育所助成事業） 【民間保育所等の施設整備等に係る経費の助成】（民間保育所施設整備支援事業） 【幼児教育・保育の一体的な提供及び地域における子育ての支援】（公立園幼保一元化推進事業） （吉沢地区地域交流・子育て支援拠点づくり推進事業） 【利用ニーズ（実質利用児童数）に応じた放課後児童クラブの設置】（放課後児童健全育成事業） 【子どもの通院、入院時の医療費の助成】（小児医療費助成事業） 	